

園名

品川区立平塚幼稚園

テーマ

身近な自然



テーマ設定の理由

園内はチョウやテントウムシの幼虫、ヨモギの葉、季節の草花など身近に様々な自然がある。また、屋上に畑、園庭には日当たりの良い花壇もある。また、砂、水など触れて遊ぶ場や、風を感じる場がある。子どもたちは身近な自然に心動かされ、興味・関心をもち、見たり、触れたりし、疑問をもったり確かめたりしている。子どもたちの気付きを受け止め、疑問をもったり、試したり、調べたり、確かめたりする姿を探り、ふさわしい環境を工夫して、本園の探究活動を深めていきたいと考えた。

活動スケジュール

年間通じて、月1回程度実施

## 事例① ～どんな色ができる？～ 5歳児

園庭に咲いている色とりどりの花を、自分で摘み花びらをすりつぶし思い思いの色を楽しみながら、花びらの色の組み合わせや、水の量などを工夫しながら、試行錯誤した。また、予測・仮説をたて確認することを楽しんだ。

### 環境のデザイン

**もの** すり鉢、すりこ木、プラスチック試験官、茶こし、水、花（咲き終わった物）

- ・幼児が「〇〇したい」「こうしたらどうなる」という思いを実現できるような物を用意する

**場** テーブル、椅子、花のプランター

- ・自分でじっくりと取り組めたり、数人で友達のしていることを見て刺激を受けたりできるような場を保证する。
- ・手の届くところに花のプランターがあることで、自分の試したいことを実現できるようにする。



### 探究活動を実践する

#### ●活動内容

自分で花を摘み、色を作って試したり、比べたりする。

#### ●子どもたちの様子

- ・「こんな色になったよ、見て」と教師や友達に言う。
- ・「この花びらとこの花びらを混ぜるとどうなるかな」と言って、同時に器に入れて、色を出す。
- ・作った色水をプラスチック試験官に入れ、色を比べたり、「この色より、この色の方が薄いね」と濃淡に気付いたりする。

### 振り返りをふまえた気づき

#### ●園の先生たちの気づき

- ・じっくりと繰り返し遊ぶことができる環境を整えることで、何回も試して遊ぶ姿が見られた。
- ・自分で試行錯誤して楽しむとともに、友達の刺激を受けて、自分の遊びに取り入れる姿が見られた。
- ・色を比較することができる物を用意することで、自分で作った色の比較や、仮説・確認をして、やっぱりそうだよね、と納得して楽しむことができた。
- ・道具の種類が子どもが扱いやすい物だったことで、取り組みやすく、探究することにつながった。

## 事例② ～広いプールにしたい！～ 4歳児

砂場に穴を掘り、太い塩ビ管を置いてそこから穴に向かって水を流す。一人一人がバケツをもち、水を汲んで繰り返し流す。水の心地良さを感じたりや、水が溜まっていく面白さ、勢いよく流れる水に興味・関心をもち、繰り返し楽しんでいった。

### 環境のデザイン

バケツ・・・一人一人が使えるような数を用意する。

塩ビ管・・・水を流したり、流れを見たりできるように扱いやすい大きさ、長さのものを用意する。

- ・ 幼児が動きやすい、また、一人一人が試すことができるスペース。
- ・ 十分に穴を掘ったり、水を流したりすることができる広い場所。



### 探究活動を実践する

#### ●活動内容

前日に屋上のプールを体験したことで、イメージをもち、教師と一緒に穴を掘ったり水を流したりすることを楽しみながら、水の勢い、水の流れ、水が溜まる様子、しみこむ様子を気付いたり、水の心地良さを感じたりする。

#### ●子どもたちの様子

- ・ 「今日は自分たちでプールを作ろう」「もっと広いプールにしたい」と砂場に穴を掘る。
- ・ 「水をもっと入れよう」と水を入れる。
- ・ 「冷たくて気持ちいいな」と水の心地良さに気付く。

### 振り返りをふまえた気づき

#### ●園の先生たちの気づき

- ・ 道具、場、コートの大ささ、ボールの素材など教材研究を丁寧に行い、幼児の実態に合わせて用意することが大切である。

#### ●講師の指導から

- ・ 準備体操、コートの準備、人数確認、ゲーム進行、勝敗、片付け、振り返りという流れを幼児が自ら行っており自信をもって取組んでいる。また、勝つためにはどうするかを考えて動いている。幼児の気づきや考えたことを映像で振り返ることも遊びの質の深まりにつながる。